

授業の概要

校種	中学校				
授業日時	2014年6月14日	学年	2	教科	国語
単元名	「鳥獣人物戯画」をよむ				
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・高度情報社会における「よむ」ことを自覚化し、多様なテキストを読み説き、得た情報を共有し、ものの見方や考え方を深める。 ・テキストとの対話を通して、自己と向き合い、自分の言葉で表現することの大切さを感じとり、日常の言語生活に活かす。 				
単元の流れ	<ol style="list-style-type: none"> ①「鳥獣人物戯画」に関する情報をよむ ②印象に残った場面を伝え合う ③絵巻物全体のイメージをつかむ ④絵巻物の全体像をつかむ ⑤絵巻物の世界を登場人物の視点から味わう ⑥絵巻物と向き合い、自分なりの見方をもつ（本時） ⑦絵巻物「鳥獣人物戯画」を評価する ⑧現代版「鳥獣人物戯画」を創作する ⑨自分の作品について伝え合う 				
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・非連続型テキストの情報と主体的に向き合い、自分なりの見方をもつ。 ・機器を効果的に活用して対話し、ものの見方や考え方を深める。 				
本時の授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 少人数学習 <input type="checkbox"/> 習熟度別学習 <input checked="" type="checkbox"/> グループ学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習				

ICT活用場面

授業場所	普通教室				
ICT機器活用場面	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input checked="" type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> その他				
	その他				
活用者	<input checked="" type="checkbox"/> 指導者 <input checked="" type="checkbox"/> 学習者 <input type="checkbox"/> ICT支援員 <input type="checkbox"/> 授業作り指導員				
活用機器	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> 学習者用タブレット <input checked="" type="checkbox"/> 指導者用タブレット <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> その他				
	その他				
活用コンテンツ	<input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input checked="" type="checkbox"/> SKYMENU <input type="checkbox"/> Schoology <input checked="" type="checkbox"/> その他				
	その他	朝日新聞forSchool、NoteAnytime、鳥獣戯画			
タブレット活用形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一人一台 <input type="checkbox"/> 学習班に一台				
活用の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日新聞デジタルfor schoolにより、情報を収集する。 ・「鳥獣戯画」アプリを活用し、右から左へ、絵巻物の感覚でよむ。 ・SKYMENUを活用し、マーキングをする。 ・Note Anytimeにより、全体をつかむ。 				

授業の展開

学習の流れ	ICT活用場面	ポイント
<p>【導入】</p> <p>「鳥獣人物戯画」についての情報を確認する。</p> <p>・アナログとデジタルの違いについて考える。自作の「鳥獣人物戯画」とタブレット上の違いについての意見をもとに考える。</p> <p>【展開】</p> <p>■ 冒頭部を読み取る。</p> <p>意見がわかれている部分について考える。</p> <p>・第1の部分 に吹き出しをつける。 ・つけた吹き出しについて発表する。 ・二つの説があることを紹介する。 A 「ここまでおいで」と、兎さん、「まってくれよお」と犬かきでがんばるお猿さん。 B 「この二ひきは、おぼれる兎とたすけにかけつける猿」。</p> <p>・ AかB、どちらかの立場にたって、根拠を示しながら考えを伝え合う。 ・ 二匹の表情を読み取り、解釈する。 読み取ったことや感じたことを表す表現や 見る場所や見る方法を表す表現についておさえておく。</p> <p>・第2の部分 A 岩の上で毛づくろいされる猿 B 岩にぶつけて、背中を怪我した猿 C 岩に座ってマッサージをうける猿 について、A・B・Cそれぞれの立場に立って、考える。</p> <p>A・B・Cのそれぞれの読みの立場にたち、根拠を示し、解説する。</p> <p>学習を通して、感じたこと、思ったこと、考えたことを伝え合う。 ・解釈は人それぞれであることに気づかせる。</p> <p>【まとめ】</p> <p>資料を提示し、問いかける。</p> <p>○よむことの多様性について考える。</p>	<p>朝日新聞デジタルfor school で最新の情報をつかむ。</p> <p>Apple TVにより、注目する箇所を拡大して提示する。</p> <p>書きこみ、マーキングができる。</p> <p>二匹の猿の表情を拡大して提示する。</p> <p>拡大し、部分に着目させることができる。</p> <p>写真をApple TVにより、提示する。</p>	<p>Apple TVにより、集約した意見を提示できる。</p>  <p>拡大縮小が自在にできる。</p>  